

TOPICS ~in 海外~

発信日付 2018年12月27日

発信名 国際部

内容
照会先 TEL : 011-233-1198

瀋陽駐在員事務所

「蟹の道」

中国で「カニ」と言えば、「上海蟹」が有名です。上海蟹は河蟹で、「陽澄湖」という湖で獲れたものが最も有名で高級品とされています。大きさは150～200グラムでかなり小柄なので、カニの身よりも主にカニシを楽しみむ食べ物です。残念ながら当地瀋陽には、上海蟹専門レストランはありません。

北海道なら、「カニ」と言えば、タラバ、毛ガニ、松葉ガニなど、海の蟹が主流ですよね。上海蟹に比べると数十倍の大きさで、カニの身を思う存分食べられるのが大きな魅力です。その夢を叶うべく、2017年12月「蟹の道」1号店が瀋陽にオープンしました。当事務所が所在する高級ショッピングモール「市府恒隆広場」地下1階に店舗を構え、ド派手なディスプレイと巨大な生け簀で瀋陽人を引き寄せています。お値段は、タラバ（500グラム）で480元（8,000円）、松葉（同）280元（4,600円）、コース料理ならお二人様688元（11,300円）ですから高級レストランです。それでも、昼、夜を問わず大賑わいで、席待ちの客が後を絶ちません。北海道人の私からすれば、「ナンチャッテ」の域を超えないレベルですが、蟹の本場である北海道の宣伝になるのであればと友人知人に紹介しています。その甲斐あってか、路面店である2号店が11月にオープンしました！



1号店



生け簀



2号店

正司 毅

ウラジオストク駐在員事務所

おいしいロシア・パート2

最近、ロシアでは「極東料理」という表現がしばしば聞こえます。この「極東料理」とは、海と山の幸のことを指します。

アジア地域にとって、ウラジオストク市は最も一番近いロシアです。旅行に来られる皆さんはボルシチ、ピロシキ等を絶対に食べたいと思うようですが、ウラジオストク限定で食べられる美味しい料理もたくさんあります。

その中でも、特に人気が高いものと言えば、オヒョウ料理です。日本では「ザブトンカレイ」とも呼ばれる巨大カレイで、オホーツク海で盛んに獲られています。豊かな脂身と、自然のやさしい風味で、どんな料理とも合う美味しい白身の魚です。レストランでは様々なソースと合わせて提供され、家庭ではフライパンなどで焼き魚としても食べられます。どちらも引けを取らない美味しい料理です。



かつて、当地にはアジア諸国の民族が住んでいたため、その影響でウスリースクタイガという広大な山林がもたらす山の幸も食っています。特にワラビの



料理は有名です。タイガのワラビは柔らかくて、夏夏に収穫して、塩漬けにして長持ちさせつつ、使用しています。特に醤油などを加えた、野菜と肉の炒めものはおすすめします。

それ以外にも、まだまだ色々な美味しい料理があります。ツブ貝と玉ねぎの炒め物、焼きホタテ、松の実と蜂蜜のお菓子、タイガのハーブティー等もおすすめです。

是非、美味しい極東料理を食べにウラジオストクへお越しください！

ヴァセツカヤ・ヴィオレッタ

TOPICS ～in 海外～

発信日付 2018年12月27日

発信名 国際部

内容
照会先 TEL : 011-233-1198

北陸銀行バンコク駐在員事務所

タイの日本食レストラン

タイに赴任する前は現地の食事が体に合わず、食生活において強いストレスを感じるのではないかと心配していましたが、赴任してから現在まで、食事についてストレスを感じることはほとんどありません。

なぜかという、タイには驚くほど多くの日本食レストランが存在しているからです。

JETRO バンコク事務所の調査によるとタイ人の約67%が一番好きな外国料理を「日本料理」と答えています。東南アジアで最も多くの日本人が居住していることも多数の日本食レストランが存在する理由の一つですが、多くのタイ人に日本食が浸透していることも大きな理由となっているようです。

ただし、「タイ人」と一言で言っても所得水準の違いによって、求める日本食の質・種類も違ってきます。例えば、人口の約2.3%を占める富裕層（月収10万バーツ以上）は来日経験が豊富なため、本物の味を求め「高級店」や「日本人が集まるお店」を好む傾向にあります。人口の約77%を占める中間層（月収1万～10万バーツ）は普段は屋台や食堂でタイ料理を食べており「カツ丼やラーメンなどの低価格の日本食」を好む傾向にあります。（1バーツ≒3.4円）

タイ人富裕層とタイ人中間層の間には「食に対する意識の違い」が存在するため、タイで日本食レストランをやりたい人、日本食をタイに広めたい人にとっては、「タイ人のどの層をターゲットにするのか」が重要です。

タイに進出を考える際の参考にして頂ければ幸いです。



【写真・ガパオライス】

奥山 桂史